

## 投稿規定および要領

この度、本技術士会は会員相互の更なる充実した活動を促進するため、会報誌を発行することに致しました。会報誌では、当会のインフォメーション、会員紹介、技術士合格体験記事の他、会員寄稿として会員諸氏の研究成果や技術報告、あるいは日頃の科学技術や業界に関する思い、日常生活での雑感・エッセー、地域社会での各種活動等まで広く投稿を募集するものです。

なお、投稿規定、並びに投稿要領は以下とします。

### \*\*\*投稿規定\*\*\*

1. 投稿者： 投稿は立命館大学技術士会会員に限ります。
2. 受付期間： 2017年9月20日まで
3. 公開方法： 当面、技術士会会員にPDFにてメール配信とします。
4. 投稿テーマ： 基本的には自由としますが、以下のようなものを想定しています。Ⅰ部とⅡ部の区別は投稿者のご判断で結構です。

#### Ⅰ部（自由テーマの部）

- 1) 科学技術や業界に関わるご意見・提言や提案
- 2) 日常生活での雑感・エッセー
- 3) 大学教育、後進者、産官学への提言や提案
- 4) 地域社会での各種活動の報告や提案
- 5) その他

#### Ⅱ部（技術レポートの部）

- 6) 技術論文、研究成果、技術報告など

5. 掲載基準： 投稿物は基本的にすべて掲載いたしますが、社会的モラルに照らして相応しくないとと思われるもの、過度の政治的主張、宣伝活動、あるいはその他の理由から本会事務局の判断により採用しない場合があります。採用の可否に関する異議は受け付けませんので、あらかじめご了解下さい。
6. 読者： 当面は、技術士会会員でメール登録をされている方となります。
7. 本投稿規約は予告なしに変更することがありますので予めご了解下さい。

### \*\*\*投稿要領\*\*\*

1. 様式：別紙参照とし、MS・Word および PDF にてご提出下さい。
2. 投稿時には、以下の情報を投稿物以外にメール本文にてお知らせ下さい。

氏名	公開（可、不可）	事務局へは本名をお知らせ下さい。
投稿物の再利用	（自由、不許可）	不許可の場合、事務局で投稿の文末に「本投稿物の無断使用、複写は禁じます」と追記致します。

3. 発行予定日：2017年10月末頃。
4. 提出先：メールでのみ受け付け致します。なお、ご自身が現在、会員かどうかについてのお問い合わせも受け付けております。

立命館大学技術士会事務局 企画・窓口担当

E-mail : rits.kikaku.mado@gmail.com

\*\*\* 投稿要領 \*\*\*

**I部 自由テーマの部**

- 1) 科学技術や業界に関わるご意見・提言や提案
- 2) 日常生活での雑感・エッセー
- 3) 大学教育、後進者、産官学への提言や提案
- 4) 地域社会での各種活動の報告や提案
- 5) その他

【I部様式】以下に見本

<b>最近の科学技術に関する教育について</b> ～人の役に立つ教育とは～	
<b>右づめ</b>	立命 一郎（匿名希望可） 建設部門（道路計画）／総合技術監理部門 昭和 62 年卒 建設会社勤務（この行は記載も含め、自由にお書き下さい）
<b>はじめに思うこと</b> タイトルは MS ゴシック 11（太字）とし、タイトルの下に副題を入れる場合は、～～で挟んで MS ゴシック 11（標準）として下さい。タイトルと副題は中央配置として下さい。執筆者情報は MS 明朝 10.5（標準）で右詰めとして下さい。本文は小見出しをつけて適当に区切って下さい。小見出しは MS 明朝 10.5 太字とし、本文は MS 明朝 10.5（標準）として下さい。小見出しの最初は一行空けて下さい。	
<b>人の役に立つとは</b> 枚数は A 4、1 枚以上 4 枚まででお願いします。余白は上 35mm、下左右は 30mm とし、一行文字数は 40 文字で行数は 36 行の標準的な仕様とします。	
<b>最後に</b> このような感じで、自由に書いて頂き、写真やイラスト、図表なども適当に挿入していただいで結構です。提出は MS-Word および PDF で提出して下さい。	

**II部 技術レポートの部**

- 6) 技術論文、研究成果、技術報告など

【II部様式】

土木学会論文集和文原稿に準拠しますが、二段組と、文末の英文は不要とします。枚数は 1 枚以上、4 枚までとします。